

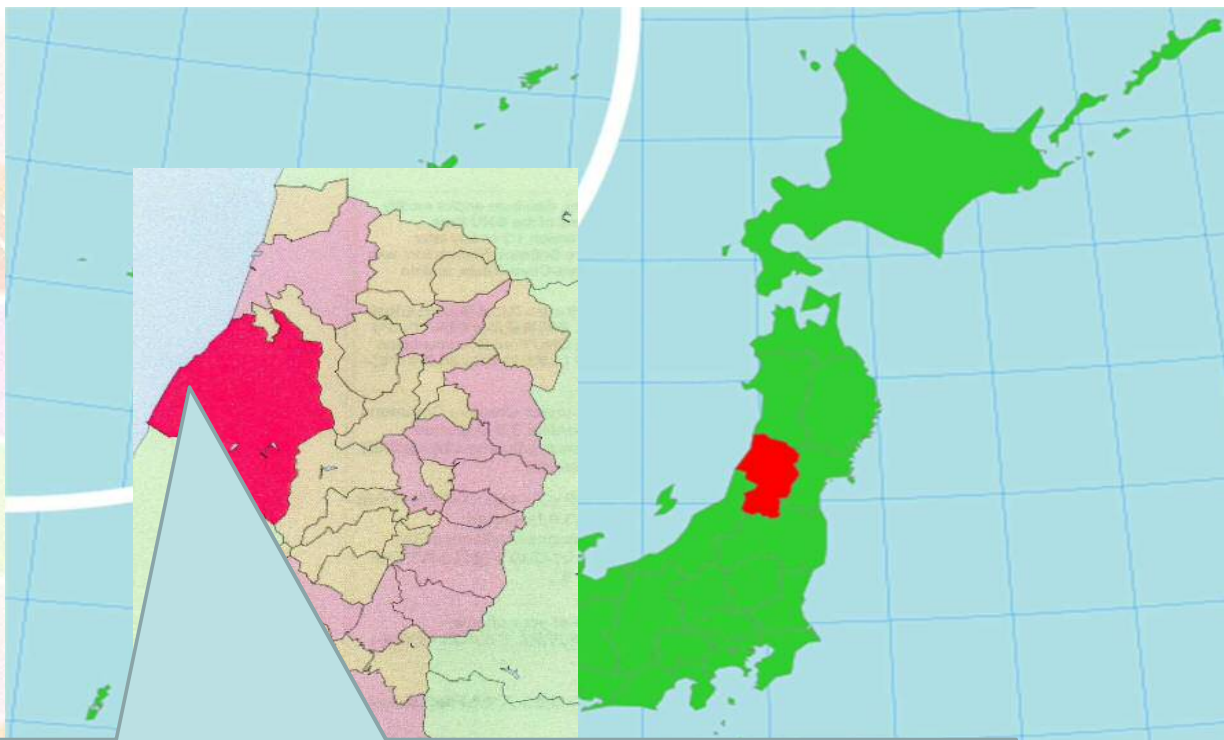
「持ち上げない介護」ってなに？ ～腰痛トラブルの改善策～

社会福祉法人 山形虹の会
介護老人保健施設 かけはし
介護福祉士 遠藤若菜



社会福祉法人 山形虹の会





- 山形県の日本海沿岸（庄内地方）南部にある人口約13万人
- 市の面積は東北地方で最も広く全国7位
人口密度⇒101人/km² 679位
- 江戸時代には庄内藩の城下町として盛える庄内南部の町
- 郊外には庄内米やだだちゃ豆の農地

介護・福祉サービスの協同ネットワーク

4月から「介護保険制度」がスタートします。介護保険法が施行されるにあたって、山形虹の会・庄内医療生活協・共立社・高齢者福祉生協は、新制度への移行に伴う住民の不安を軽減し、介護・福祉サービスの要求にきめ

細かく応えていくための協議を重ねてきました。そして、それぞれの組織の特徴を生かした事業を軸にして相互に連携しあう、協同組合・非営利組織ならではのサービス網を配置いたしました。

社会福祉法人山形虹の会



老人保健施設かけはし

グループホームかけはし

病状が安定していて、治療より介護やリハビリが必要な状態、または「中等度」の痴呆状態にあるお年寄りなどの方が入所する施設です。

ショートステイ 短期入所療養介護

在宅で療養の方が老人保健施設に短期間（介護度による利用日数）入所し、サービスを受けます。

グループホーム

中等度の痴呆のお年寄りなどの方が、専門職員の援助を受けながら集団で暮らす施設（家）です。各人身辺が自立し共同生活をします。定員は9名です。



グループホームのリビングルーム

庄内医療生活協同組合



協立病院(左)とデイケア棟(右)

訪問看護

「訪問看護ステーションきずな」では、在宅で寝たきりなどの状態にあるお年寄りなどの方に、医療・看護の専門職員が家庭を訪問して、診療の補助や療養のための身のまわりの世話を行います。



訪問看護ステーションと在宅総合センター

ホームヘルプサービス

「ヘルプステーションぬくもり」では、要支援・要介護のお年寄りなどの日常生活をささえるため、ホームヘルパーが家庭を訪問して、身体介護・家事援助、さらに相談や助言を行います。

社会福祉法人山形虹の会のあゆみ

1995年8月 社会福祉法人山形虹の会が設立

- 1996年4月 共同の力により「老人保健施設かけはし」が設立
- 1999年11月 「山形虹の会と福祉を良くする友の会」が結成
- 2000年4月 「かけはし居宅介護支援事業所」開設
- 2000年4月 「グループホームかけはし」開設
- 2000年6月 「山形虹の会訪問入浴サービス」開始
- 2002年11月 「グループホームかけはし」2ユニット増設
- 2004年10月 「ショートステイかけはし」（定員21）開設
- 2007年7月 「認知症対応型通所介護デイサービスかけはし」開設
- 2012年4月 「特養かけはし」「ショートステイかけはし2号館」開設
- 2021年7月 「グループホーム南館」開設

介護老人保健施設かけはし開設

平成8年4月22日事業開始

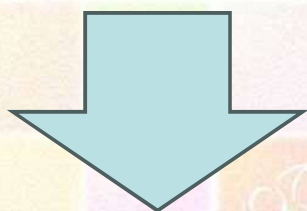
- 一般療養棟60床、
認知症専門棟40床、
通所リハビリテー
ション40人



ノーリフトケアとは...

「持ち上げない」「抱え上げない」
「引きずらない」

持ち上げる介助



滑らせる介助

～スライディングシート～



ラクラックスシート

運搬用ストレッチャーと
入浴用ストレッチャーに

最適なサイズ

低摩擦素材で床ずれ予防や
創部の保護にも効果的



～スライディングボード～

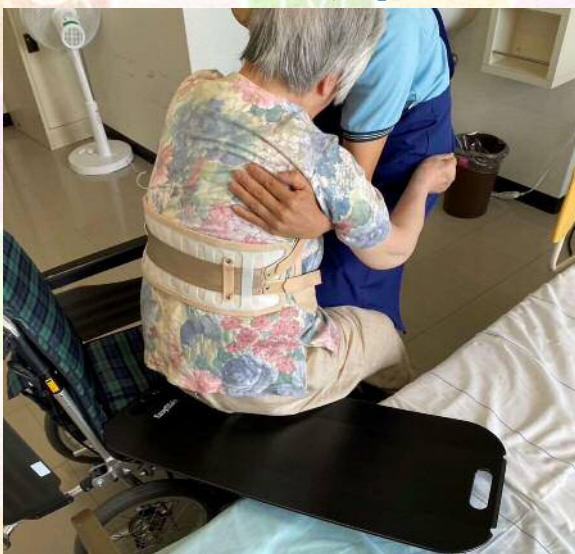


立位は困難でも
座位保持が可能な方に
適している



- ☑跳ね上げ式車イス
- ☑ベッドの高さ調整

「抱え上げる介助」が
当たり前だった頃...



恐怖心

不安 ←→ 緊張



「私、重いから大変よ」
「大丈夫？怖いわ」
「申し訳ない。ごめんね」

利用者の声

- シートやボードを活用する
事によって痛みや恐怖心が
軽減された
- 肩や腰の痛みがなくて良い
- 持ち上げられるより怖くない

職員の声

- スライディングシートやボードを
使うことで体の大きい方の移乗
も安心してできるようになった
- 腰痛持ちだけど腰への負担も
少なく移乗が楽になった

利用者



職員

救いのアイテム

学習会では

働く現場の職員の声を
聞きながら利用者目線・
職員目線で実際に、移乗
を体験し職員の意見交換
の場を大事にしている

- ・活用できそうな利用者はいないか？
- ・介助で困ったことはないか？
- ・使い方がわからない
- ・体験談や心配談



職員間で共有し合う



腰痛体操



介助技術やケアを見直す
きっかけとして…

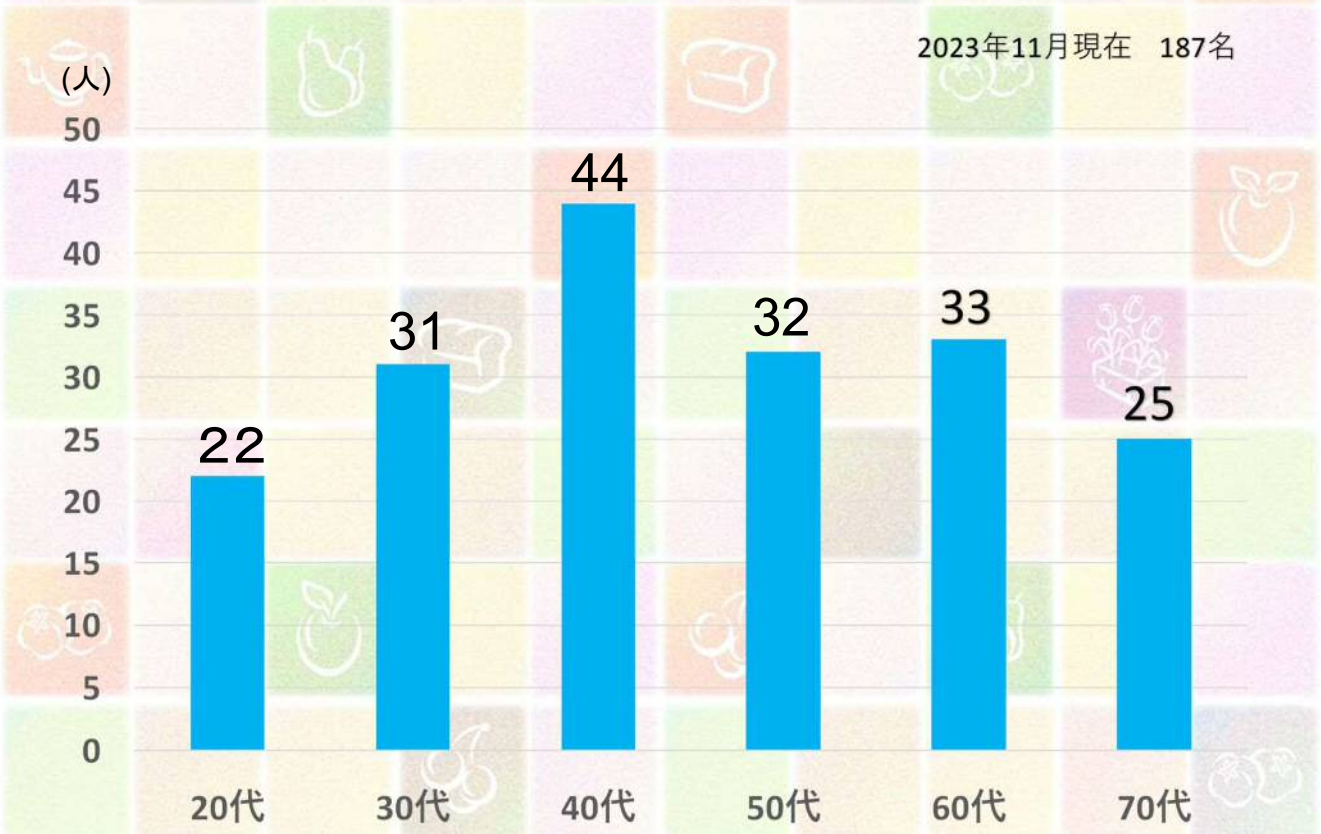
実際に体感し利用者の
気持ちを理解する



一つ一つの積み重ねが職員の意識変化に…

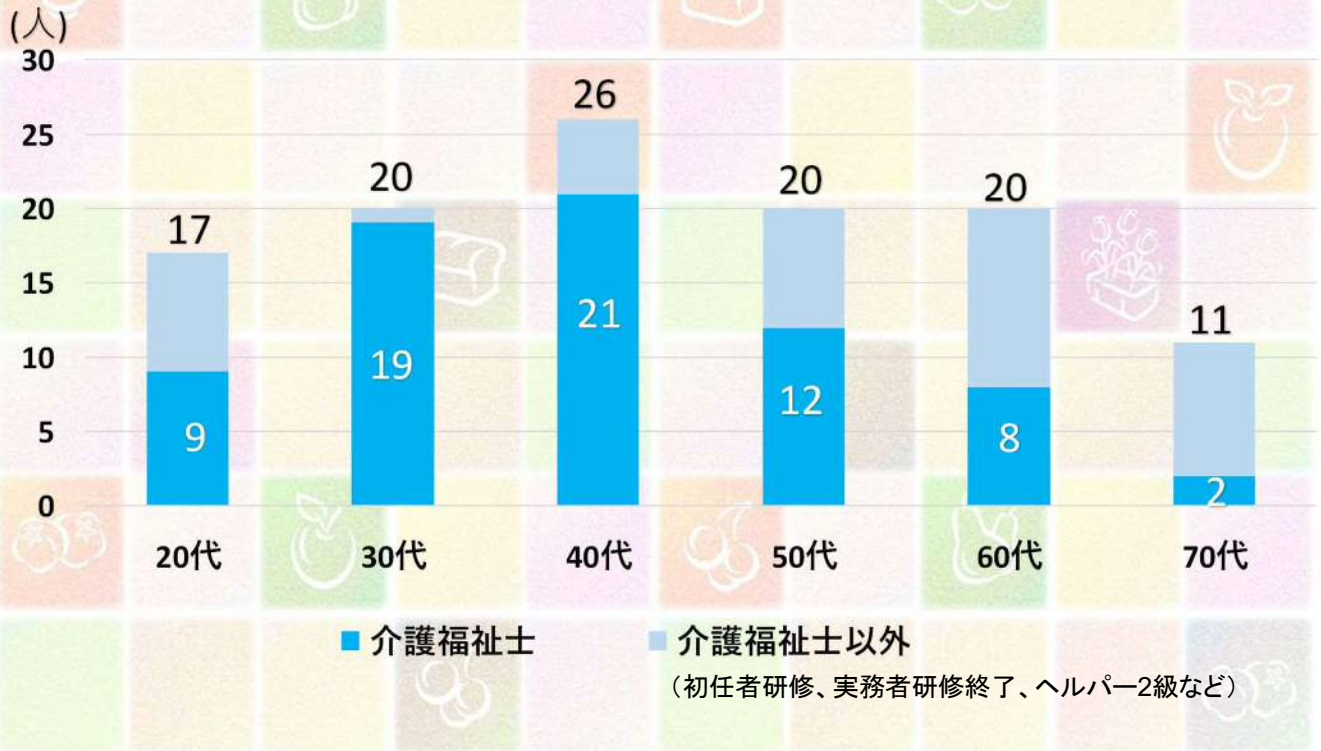
法人全体の全職員年代別グラフ

2023年11月現在 187名



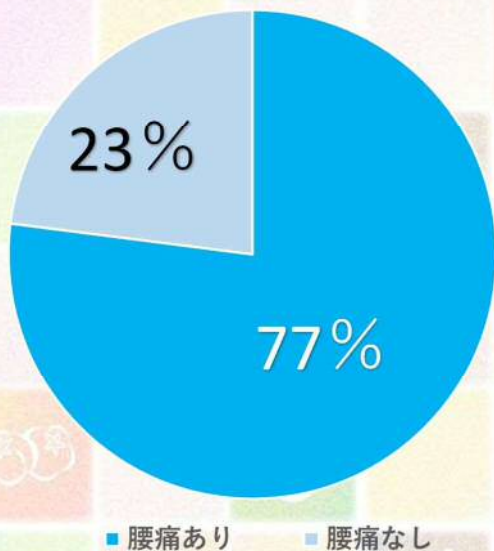
介護福祉士と介護福祉士以外

介護職員総数 114名

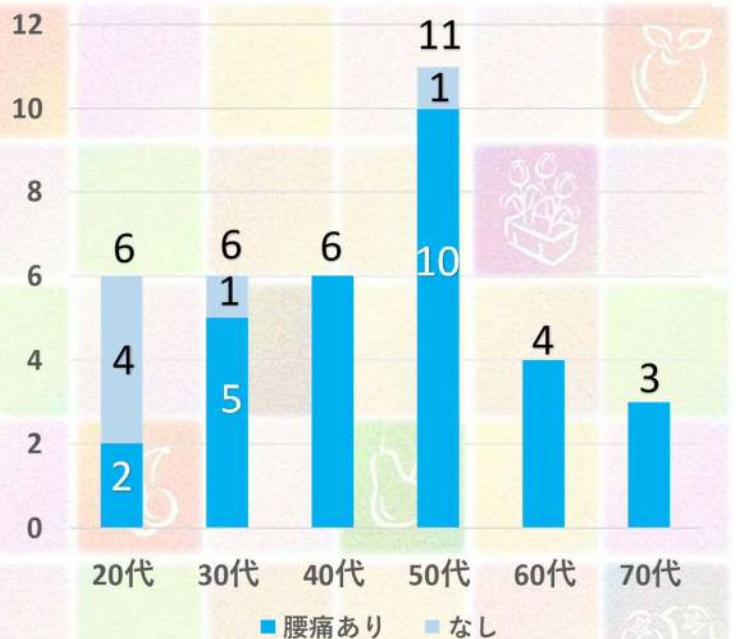


アンケート結果

腰痛アンケート



年代別



【まとめ】

移乗時に発生する**身体的負担**は**軽減**したものの
未だ多くの職員が腰痛トラブルを抱えている

職業病といわれる「腰痛」は
介護現場において永遠の課題です。

福祉用具の
活用



腰痛予防

ご清聴ありがとうございました